

あなたの
ための
政治。



枝野代表

「withコロナ」から「zeroコロナ」へ。 何としても国民の命と暮らしを守る

枝野幸男代表は衆院本会議で1月20日、菅総理に政府の対COVID-19感染拡大対策をただすとともに、立憲民主党の解決策を提示しました。

枝野代表は、市中感染をある程度容認する中で経済を回していく「withコロナ」ではなく、まずは徹底的な感染封じ込めに取り組み、市中の感染者をほぼゼロに抑え込む「zeroコロナ」を目指す方向への転換を訴え、その戦略に沿った3つのプランを提案しました。



枝野代表が提示した3つのプラン

1. 医療の崩壊を食い止め、充実させることに最優先で取り組む。
2. 感染拡大を防ぎ、封じ込めを徹底する。
3. 感染を封じ込めるまでの間、倒産や廃業を防ぐ補償と、誰一人取り残すことがない生活支援で暮らしと経済を守る。

感染症と戦い『命と暮らしを守る』政治を 緊急時の今は医療・事業者・生活者支援が最優先

枝野代表は、「感染防止と経済の両立」を目指すのではなく、まず徹底的な感染の封じ込めに取り組む「zeroコロナ」を基本戦略として提案。医療支援、事業と暮らしの支援に関する具体的施策を可及的速やかに進めるよう政府に求めています。

- ・あらゆる**医療機関に対する支援**（昨年からの減収分に対する経済的支援）
- ・希望する**エッセンシャルワーカーへの定期的な公費検査の実施**
- ・誰でも安心して入院できるよう**病床や療養用のホテルの確保、感染者の生活支援体制の充実**
- ・感染症危機による倒産や廃業が生じないよう**持続化給付金と家賃支援給付金の要件緩和、期間延長と再給付**
- ・**雇用調整助成金の特例措置、休業支援金・給付金の期限の延長**（少なくとも6月末まで）
- ・中小企業に限定されている**休業支援金・給付金の対象を、大企業の労働者にも拡大**
- ・求職活動のさらなる長期化に備え、**失業手当の給付日数の延長と給付割合の引き上げ**
- ・議員立法「**コロナ対応医療従事者等慰労金法案**」を国会に提出（2021年1月18日）

新型コロナウイルス感染症患者に対応する医療従事者等に20万円の慰労金を再度支給するもの。
政府の慰労金では対象とならなかった保育所など子ども・子育て支援施設の職員も支給対象とする。

- ・議員立法「**『子どもの貧困』給付金法案**」を国会に提出（2021年1月22日）

低所得のひとり親家庭および生活に困窮する子育て家庭（住民税非課税相当の子育て世帯）に対して、
本年1月と3月（計2回）、1世帯あたり5万円、第2子以降1人につき3万円の給付金を支給する。

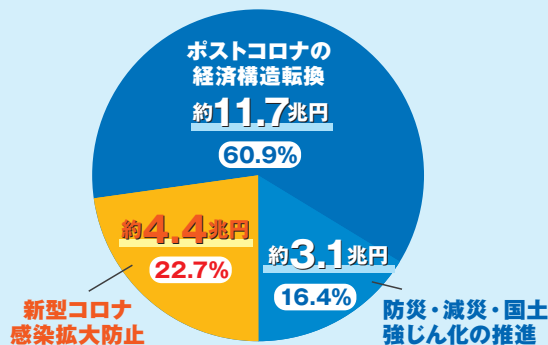


GoTo予算削除し、コロナ集中対策を

立憲民主党は1月26日、政府提出の2020年度第3次補正予算案に対し、組み替え動議を提出しました。第3次補正予算案は、昨年12月、緊急事態宣言再発令前に編成されたもので、感染拡大防止対策予算が不十分です。組み替え案では、GoToトラベルの延長経費などの感染防止と関連が薄い約6.1兆円を削除し、医療機関や事業者、生活困窮者への支援などコロナ集中対策への予算計17.9兆円の新規・追加計上を求めました。

感染拡大防止のための予算は
約4.4兆円でわずか2割程度

第3次補正予算 約19.2兆円



(※2020年12月15日閣議決定)

自己責任から支え合いへ。

立憲民主党は、あなたとともに力を合わせ、感染症と戦い
「命と暮らしを守る」政治を実現するため全力を尽くします。